



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：インドのクルシード外相のイラン訪問

(4～6日付現地各紙)

5月3日から3日間の日程で、インドのクルシード外相が、第17回イラン・インド経済共同委員会会合出席のためにイランを訪問した。

1. 第17回イラン・インド経済共同委員会会合の開催 (5月4日)

- (1) イランのサーレヒー外相とクルシード外相は、第17回イラン・インド経済共同委員会会合を開催し、イラン標準産業研究所 (ISIRI) とインド標準局 (BIS) との協力、インド外務省研究所とイラン外務省付属国際関係大学との協力、水資源に関する二国間協力を含む4つのMOU (了解覚書) に署名した。両者は同会合の冒頭、バイ会談を行い、運輸分野、チャーバハール港プロジェクト (アフガニスタンへの輸送ルートを結ぶ)、南北回廊、エネルギー分野、領事分野の促進などについて話し合った。
- (2) サーレヒー外相は、両国の歴史ある関係および言語・歴史・文化を起源とする両国の共通点に言及しつつ「今次訪問が両国の新たなステップとなることを期待する。両国は常に親密な関係を有しており、いかなる文書も両国関係の発展を妨げることはできない。イランは経済・貿易・農業・産業・通信および教育などの様々な分野での協力拡大に向けた用意がある。また、二国間・多国間並びに地域間でのより一層の人的交流の促進を行うべきである」と述べた。
- (3) クルシード外相は「我々はイランとの関係を特別視しており、全ての共通する潜在力を見出し活用し協力する決意である。両国経済共同委員会は、障害を取り除き、両国間合意をフォローするために極めて重要である」と述べた。また、経済・商業分野での両国関係の発展を指摘し、インドはイランの石油を必要としていると言及して、両国間の貿易量の増加に期待感を示した。

2. インド外相とイラン要人の会談

- (1) クルシード外相は、イランのアフマディーネジャード大統領およびラーリージャーニー国会議長と会談した。
- (2) アフマディーネジャード大統領は、現下の国際情勢において、我々は二国間関係の保護・強化を主張しなければならないと語った。
- (3) ラーリージャーニー国会議長は、両国民間部門の経済協力の拡大を妨げる障害の除去、両国のビジネスマンに対する査証手続きの簡素化を呼びかけた。
- (4) クルシード外相は、イランに対する政治的・経済的圧力に言及し、インドは、イランに対する敵たちの圧力の目的を承知しているが、これら問題がイランにいかなる影響も及ぼさないことを確信していると述べた。また、イランの平和的な核計画を支持しつつ、イランとP5+1の協議が公平かつ透明性のあるものとなるべきだと語った。